

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回東村山市立図書館協議会				
開催日時	令和3年7月12日(月)午後1時～午後2時30分				
開催場所	中央図書館 読書室				
出席者及び欠席者	●出席者： (委員) 伊藤浩介委員・岩浪正広委員・竹澤廣介委員・真野朋子委員・石河聡子委員・徳永靖子委員・堀渡委員・黒尾和久委員、宮川健郎委員 (市事務局) 新倉図書館長・野口館長補佐・安保廻田地区館長 ●欠席者： 無し				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	無し
会議次第	1. 報告 (1) 新型コロナウイルス感染症対応について (2) 令和3年度図書館運営方針および重点事業 (3) 東村山市第5次総合計画 令和3年度実施計画 (4) 令和3年3月議会より 等 2. 協議 (1) 令和2年度図書館重点事業報告 3. その他				
配布資料	配布資料 1. 令和3年度第1回図書館協議会次第 2. 令和3年度第1回図書館協議会報告資料 3. 図書館組織図 4. 令和3年度図書館運営方針 5. 東村山図書館の利用状況 6. 図書整備事業費の推移と市民一人当たりの資料費比較 7. 令和2年度図書館重点事業実施報告(案) 8. 東村山市立図書館資料収集方針 等 9. 東村山市第5次総合計画 概要版				
問い合わせ先	事務局 東村山市立中央図書館 担当者名 野口 電話番号 042-394-2900 FAX番号 042-394-4107				

## 1. 報告

(事務局) 今回が第23期委員最後の回となる。今日緊急事態宣言発令されたが、前年度総括と今年度予定の報告を受けるべきなので開催することとした。まず報告をまとめて先に行う。

### (1) 新型コロナウイルス感染症対応について

4月以降の図書館の対応は、報告資料の通りである。4月28日から5月31日は休館して予約本の貸出のみ行った。予約をしてから借りる流れが定着しているため予約数は増えている。緊急事態宣言が解除された6月1日から22日までは夜間開館は休止のまま、座席を撤去して館内利用を再開した。23日からは夜間開館を再開して座席を減らした状態で利用を再開した。7月12日からまた緊急事態宣言が発令されたが、東京都の基準が変わらないため図書館の対応は、来館時に「利用連絡票」の記入を任意でお願いする以外は変更無しとした。第1四半期の行事の大半を中止か延期とした。現在の緊急事態宣言解除後については、様子を見ながらではあるが開催する準備をしている。

### (2) 令和3年度図書館運営方針および重点事業

主な重点事業は3月に策定した第4次子ども読書活動推進計画の推進であり、電子書籍などデジタル化への対応も検討していく。資料提供の充実と職員の資質向上も引き続き重点事業としている。

### (3) 東村山市第5次総合計画 令和3年度実施計画

総合計画の概要版を配布しているが、令和3年度の実施計画計画事業として学校図書館専任司書の配置が1校5時間から6時間に拡大した。今後は2校兼務から1校1名を目指す。また学校図書館の蔵書の充実として図書標準達成と蔵書管理システムの導入を目指して取り組んでいく。

### (4) 令和3年3月議会より

新型コロナ対応のため一般質問を見合わせる会派があった。予算特別委員会では電子書籍についての見解を問う質問があった。

### (5) 東村山市立図書館資料収集方針の改訂

漫画の取り扱いを変更した。一般書では、漫画は収集対象外としていたがコミックス(ストーリー漫画)以外は選定対象とする。具体的には、コミックエッセイや実用漫画を想定している。また、コミックスも他自治体からの協力貸出が可能なものは提供する方針として、リクエストを受けて個別対応に判断する。

### (6) 令和3年度予定

萩山図書館が開館40周年を迎える。コロナ下ではあるが関連団体と記念行事を企画している。

音訳ボランティアの新規募集を行う。昨年度に予定していたが、コロナ下のため1年延期し、今年度募集する。

- 都内の図書館で新型コロナウイルス感染のクラスター発生はあったか。

(事務局) 発生していない。

- 蔵書を介しての利用者への感染は発生していないようだが、職員が感染したことによる休館はあったか。

(事務局) 当市ではそうしたことはないが、他市で職員の感染で、施設消毒のために数日休館した事例は聞いている。

- 重点事業について、「読書活動や図書館利用がしにくい子どもへのサービスの充実」と「東村山にゆかりのある資料の収集・提供の充実」について説明いただきたい。

(事務局) 前者は、第4次計画の重点事業としており、第3次計画までの取り組みが課題となっていたため第4次計画で力を入れていく。具体的には特別支援学級への支援やデジタル資料や布の絵本の活用等を検討している。後者については、武満徹氏や草野心平氏のコーナーがすでに廻田図書館、秋津図書館にあるが、今年度は名誉市民になった志村けん氏について紹介するコーナー設置や「東村山ものしりシート」を作成することもあり重点事業とした。ほかに地域ゆかりの作家の著作を紹介する巡回展示も考えている。

- 志村けんさんがきっかけで重点事業に載せたとのことだが、小さい図書館では作り方が難しいが他のテーマでも地域の記憶として残して欲しい。
- 次年度に向けて考えてほしいこととして、「活字資料が利用しづらい方へのサービスの充実」だが、来館困難者と活字資料が利用しづらい方は別で、視点を広げてほしい。また、「職員の資質向上」について、利用者への的確な資料案内は、日常的な収集・管理がしっかりできて達成できるもので、人材育成だけではなく安定的な人材確保ができる方法を考えてほしい。
- 実施計画事業に学校図書館選任司書配置を2校掛け持ちを1校にしていくことと図書館システム導入について載っているのはよい。
- 今年度は学校図書館選任司書の勤務時間が拡大したのは、放課後の時間帯か。

(事務局) 小学校、中学校それぞれの学校の事情により、勤務時間は異なる。

- 今までの実施計画には載っていなかったのか。

(事務局) 実施計画事業としては初めて採択された。

- 3月議会では、電子書籍の検討を質問されたとのことだが、他にはなかったのか。

(事務局) 図書館への直接の質問はこれだけである。

- 新型コロナ対応で図書館の休館が多く、自宅から借りられるように電子書籍を国な

どの補助金を利用して導入した自治体が、区部だけではなく多摩地域でもある。休館中も本を借りることができるのはよいが、高額な電子書籍をコロナ後も買い続けることができるのか疑問がある。

(事務局) 他市での導入状況を見た上での質問だった。

- 電子書籍といっても、個人向けのものとは図書館向けのものには違いがあり、図書館向けは1万タイトルに満たない。年100万タイトルが出版される紙の書籍より圧倒的に少ない。図書館用は買い切りではなく、利用期間やアクセス回数に制限があるレンタル式が多い。また、紙の書籍とは別に予算を確保し続けられるかという問題がある。

(事務局) 導入自治体が急激に増加してはいる。

- 事典類などの参考資料は紙での出版が減っている。

(事務局) 当市で導入するのであれば電子書籍の特性を活かせるタイトルを選びたい。

- まずは障害者対応の資料や参考資料からの導入になるだろう。一般利用者の意識とギャップが出るかもしれない。
- 収集方針の改訂についてだが、漫画への対応を緩めてストーリー漫画以外のコミックエッセイなどを収集範囲に広げたということか。

(事務局) これまでは総ページの半分以上がコマ割りの場合は漫画だと形態で判断して収集していなかった。出版形態が多様化している中、今後は他の書籍と同様に内容で検討することにした。ストーリー漫画の購入はしないが借用で対応する。都立図書館ではハードカバーのストーリー漫画を所蔵していることもありリクエストを受けることにした。

- ストーリー漫画は収集対象外だが借りるために所蔵自治体を探すということ。コミックエッセイや実用漫画は完全な漫画のものから、イラストと文のような作品まで幅がある。何を中心に置くか棚の構成に工夫が必要である。いつまで棚に置けるか内容の鮮度の問題もある。
- 学校では、教科書に手塚治虫の伝記やさくらももこの作品があり、子どもたちが漫画に関心をもつ。学校図書館の蔵書の漫画は教科書での取り扱いを参考にしながら置いている。
- 今年度の音訳ボランティア新規募集について、新型コロナは続いているが、サービス維持のために定期的に募集することが大切である。

## 2. 協議

### (1) 令和2年度図書館重点事業実施報告

(事務局) まず統計数値を説明する。図書館は令和2年度に新型コロナ感染拡大防止

のため2か月休館した。中央図書館が大規模修繕工事のため5か月休館した令和元年度から利用者数はさらに減ったものの、貸出冊数は増加した。休館中に予約本の貸出を行っていた時期があり、予約数は全館で増加した。開館後も予約してから借りに来る利用の仕方が定着している。

以下、「令和2年度図書館重点事業実施報告（案）」をもとに報告する。

## 1. 第3次子ども読書活動推進計画の総括並びに第4次計画の策定

### (1) 第4次東村山市子ども読書活動推進計画の策定

昨年度は新型コロナ対応で着手が遅れたが予定通り3月に策定できた。関係各方面に多くのアンケートをとった。パブリックコメントへは多くの有益な意見をいただき、市の考え方をまとめて公表するのに時間がかかった。課題は多いものの学校図書館への取り組みを続けていることを評価していただいた。SDGs、感染症対策、ICTの活用などの視点を盛り込んだ計画とした。

### (2) 子どもの読書に関わる市民活動への支援と読み聞かせボランティアや関連団体との協同事業の充実

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためボランティア派遣を含めて大半の事業を中止せざるを得なかった。代替事業としてボランティアの研修・交流会を行ったり、お話し会用の小道具を家で作成してもらい活動にかえたりした。作成した小道具は通常訪問している施設へ寄贈した。令和3年度も前期は中止や延期が決まっている行事がある。

### (3) 関連所管との連携による学校での読書活動・調べ学習推進に向けた支援事業の充実

大人数での研修は難しく限定的な開催となり、学校図書館選任司書の合同研修ができなかった。

## 2. 資料提供の充実

### (1) オリンピック・パラリンピックを契機とした多様性理解につながる資料の収集・提供の推進

一年延期となったが関連資料の購入を続け、テーマ展示を行った。気運醸成事業としての展示テーマ設定が難しい面があった。小中学生向けに「調べよう！オリンピック・パラリンピック」として、夏休みの調べ学習向けにコーナーを設けたが、館内滞在時間を短くするようにお願いしていたこともあり、利用は少なかった。

### (2) 活字資料が利用しづらい方へのサービスの充実

音訳ボランティア新規募集を1年延期した。会員向けの中級講習会も予定していた7回のうち3回を中止にした。広い会場を押さえて密にならないようにしたが、施設の休止により中止せざるを得なかった。自宅での録音は可能だったためデージー資料はほぼ目標通り作成できた。東村山音訳の会が「令和2年度『障害者の生涯学習支援活動』に係る文部科学大臣表彰」を受賞した。対面朗読は利用者とボランティアの安全に配慮し、客観的な基準を設け都の警戒レベル4の時は中止した。

布の絵本プレイルームは資料の消毒が難しいため中止した。

## 3. 読書環境の整備

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮した安全で安心できる読書環境の整備

に努めると共に、図書館危機管理体制の見直しを行う。

感染拡大防止のため令和2年3月2日から6月9日まで休館した。再開時には閲覧席の間引き、施設・設備の定期的消毒、マスク着用などの来館利用者への感染予防策への協力依頼などの対策をとった。換気のため窓などを常時開放しているため室温のコントロールが難しい面があった。

#### 4. 職員の資質向上

##### 業務内容に応じた各種職員研修の充実

異動者への新人研修、地域資料研修などを内部で行った。

- 1-(1) について、計画通り実行してほしい。
- 1-(2) について、1か所だけ行ったボランティア派遣は学校からの要望か。

(事務局) 長年学校での読み聞かせを行っている団体で、学校との信頼関係からボランティアも感染対策をしての早期の再開となった。ほかの派遣依頼要望については、基本的には見送らせていただいた。

- 「うつつけ人形」を寄贈したとのことだが報告書に写真があるとどういふものかイメージできると思う。

(事務局) 検討したい。

- 1-(3) について、研修会でも会うこと自体がはばかれる状況で支援事業は難しかったと思う。
- 学校図書館専任司書の充実に取り組んでほしい。
- 2-(1) について、オリ・パラが延期になり本番がない中での取り組みとなった。補助金事業の資料購入は続けたそうだが、本番終了後も資料はレガシーとして残るのでしっかり活用してほしい。
- 2-(2) について、音訳の会の受賞はこれまでの会員の活動と推薦をした図書館のおかげであり、感謝したい。
- すべての事業に対して、新型コロナで中止になるのはやむを得ないことだが、ただ中止にするのではなく代替策を考えてほしい。

(事務局) 代替事業に関して一例をあげると、「お父さんと楽しむおはなし会」は中止にしたが、そこで紹介する予定だった作品を図書館ホームページのおすすめ本コーナーに載せて利用を促した。

- そういった取り組みを積極的に案内してほしい。

(事務局) 中止にするだけで何もしないでよいとは考えていない。代替りの取り組み

を検討していきたい。

- 項目3について、図書館ではクラスターは発生していないが、事態は継続中である。対策が十分であるか点検しながら図書館サービスを続けてほしい。
- 図書館は市民と直接対応する職場だが、職員はワクチンを優先して接種できるのか。

(事務局) 図書館としての優先枠はないが、市職員の希望者が集団接種会場での残余ワクチン接種をうけることができる。

- 引き続きリスク管理をしながら図書館サービスを続けてほしい。
- 項目4について、去年と同じだが研修による人材育成だけでなく、採用を含めた人材確保に努めてほしい。

### 3. その他

- 今日から緊急事態宣言が発令されているが、対面で開催した意義はあった。

(事務局) これで第23期図書館協議会は終了となる。今期で退任される委員は5期10年にわたり務めていただいた。感謝申し上げます。

(次回) 令和3年秋以降に予定。